

2024年度
おだ認定こども園
すくわくプログラム

テーマ「見えないものを観ようとする」探求 見る・観る・視る

はじめに

子どもたちは視覚的な物事に対して興味・関心を向ける傾向が強い。見えたものに対して、「なんだろう？」の問が始まり、五感を使ってそのものの存在を知ろうと探求する。どの年齢においても【見る】ということは知ろうとする入口ではないだろうか。何を見て、何に興味を抱いているのか、その先に学びの種があるのか、子どもの視線の先にあるものを子どもと横並びになって観ることで、子どものワクワクをさらに広げたり深めたりできるように「環境」をデザインし、探究活動を設定する。
テーマは、『見えないものをみようとする』『光と影』

乳児

1歳～2歳

幼児

見る

追視

心を動かし
ながら観る

光と影

「なにがいているか
な？」
仮説・期待・予測を持
ちながら観る

見えないけど、観たいものとの出会い

段ボールコンポストの中に住む『菌ちゃん』



麹菌・納豆菌



シイタケ栽培

5歳児探究活動の流れ

テーマ：段ボールコンポストの菌ちゃんへの思い
見えないけど何かがいる
【その存在を見てみよう発見しよう】

【始点】

乳幼児から始めるESD教育
の取組として
「もったいない」から始まった
生ごみの再利用
段ボールコンポストを始めて
みたら、菌との出会いが子ど
もの探求心を開花させる

こども疑問

・生ごみを入れると何故土が熱くなるの？
・生ごみが消える、なんで？

環境をデザインする
・地域の専門家との連携
人的環境



子どもの考え

・菌って何だろう？
よく分からない
見えないけど『菌ちゃん』が頑張っている
『菌ちゃん凄い』

子ども会議で気づ
いたことを発表、ク
ラスで共有。
クラス便りで保護者
に報告。
職員研修で取り組
みを伝える。

取組の内容を
年中組に伝え
て協力を依頼
する



『保育者の願い・仮設』
子ども達は菌ちゃん存在を漠然とし
てファンタジーの世界のように感じて
いるが、もう少し科学的な発見がで
きたら興味が更に深まるのではないか。